

■心も体も元気な子供を育成するために 家族みんなで「早寝・早起き・朝ごはん」を実践しよう！

利府町立利府小学校 学校だより NO.14



# くるみ

令和3年3月 1日 (月)

## 【目指す児童像】

- かしこく・やさしく・たくましい利府小の子
- ◎進んで学習する子供（夢いっぱい）
- ◎明るく思いやりのある子供（笑顔いっぱい）
- ◎健康でたくましい子供（元気いっぱい）
- ◎喜んで働く子供（力いっぱい）

## 東日本大震災からまもなく10年

2月13日（土）午後11時8分、福島県沖の地震が起きました。マグニチュードは7.3、利府町では震度5強という地震でした。夜中の地震に児童・御家族の皆さんは驚かれたことかと思えます。

学校では大きな被害はありませんでしたが、校舎踊り場には、東西それぞれ亀裂が入ったり、校舎外側には一部亀裂も見られたりするなどの被害がありました

御家庭からも、大きな被害の報告は受けませんでした、「寝ていたけれど、びっくりして飛び起きたよ。」「怖くて仕方がなかった。」「本がたくさんひっくり返ってきて、ぶつかってしまったよ。」等、児童も大きな揺れに驚いた様子でした。

さて、東日本大震災からまもなく10年です。平成23年3月11日、午後2時46分に発生。約6分間の長い揺れで、マグニチュードは9.0、利府町では震度6強という地震でした。残念ながら、県内を含めて多くの小学生の命も失われてしまいました。

当時、本校では全児童無事で、午後3時ごろにメール配信を行い、引き渡しを始めましたが、引き渡し完了したのは、翌日の午前7時35分頃でした。その間、体育館において自家発電によるブルーヒーターで暖を取ったり、毛布にくるまったり、備蓄されていたビスケットを食べたりしたそうです。

東日本大震災や先日の地震から学んだことを生かして、今後本校でも適切に避難訓練や引き渡し訓練を実施していく予定です。また、地震はいつ・どこで起きるか分かりません。学校や御家庭以外で起こることもあります。その際は、どうすればよいのか・どこに集まるかなど、御家庭で話し合うことが大切です。「備えあれば憂いなし」を実践していきたいと思えます。



## 3月の主な行事予定



日	月	火	水	木	金	土
	3/1	3/2	3/3	3/4	3/5	3/6
	あいさつ運動 スクールカウンセラー来校 5校時限 代表委員会		6年生を送る会（オンライン） 全校4校時限 下校13:35、バス13:50	全校4校時限 下校13:35、バス13:50	全校4校時限 下校13:35、バス13:50	
3/7	3/8	3/9	3/10	3/11	3/12	3/13
		教育相談専門員来校		みやぎ鎮魂の日 全校集会（オンライン）	1～4年4校時限 下校13:35、バス13:50 6年奉仕作業	
3/14	3/15	3/16	3/17	3/18	3/19	3/20
	あいさつ運動	卒業式予行（5年参加）	6年大掃除	特別時程 1～4年、6年 下校13:10、バス13:25 5年会場準備 下校14:45、バス15:00	卒業式 1～5年休業日	
3/21	3/22	3/23	3/24	3/25	3/26	3/27
		1～5年大掃除	特別時程 修了式 1～5年3校時限 下校11:15、バス11:30	学年末休業日（～4月7日） 6年利府中学校一日入学		
3/28	3/29	3/30	3/31	※ 2月24日（水）発行の5学年だよりでは、3月24日（水）について5年生のみ12:00下校とお知らせしましたが、全校11:15分下校と変更になりました。		
	離任式 下校9:25、バス9:40					

入選・入賞おめでとう！ ※Web上では児童名を掲載しません。



○ 宮城県書きぞめ展 出品

【硬筆の部】

1年  
2年  
3年  
4年  
5年  
6年

【毛筆の部】

3年  
4年  
5年  
6年

○ 利府町書きぞめ展 特賞

【硬筆の部】

1年  
2年  
3年  
4年  
5年

【毛筆の部】

3年  
4年  
5年  
6年

※ 利府町書きぞめ展では、その他たくさんの友達が入賞となりました。



○ 令和3年度 防火標語入選  
5年

○ 令和2年度 多賀城市スポーツ少年団優秀団員  
6年

○ 令和2年度 税に関する絵はがきコンクール 塩釜法人会 優秀賞  
6年



## ○ タブレット運用開始しています

一人一台タブレットが使用できるようになりました。使い方の確認を行い、学年の発達段階に応じて、授業の中で使用し始めています。教師側から児童側のタブレットに課題や情報を送信したり、検索しながら調べたり、調べたことを基にまとめたり…タブレットは、これからの教育に様々な可能性を秘めています。

これからの時代を生きる児童にとって、タブレットは鉛筆やノートと同様に学習のための大事な道具となっていくと思います。タブレットの利点を上手に生かしながら有効活用できるように、教師も研修を進めてまいります。



## ○ メディアについて、もう一度考えてみませんか・・・

タブレット等メディアの活用は学校生活のみならず、これからの社会になくてはならないものとなってきましたが、一方で悪影響も心配されています。

仙台医療センターの医師 田澤 雄作氏によると、テレビやゲーム、スマートフォン等の非現実的での時間が長すぎると、現実の時間の中で育てられる人との絆の形成が阻害され、対人関係の発達に問題が生まれたり、自分の気持ちをコントロールする力が弱くなったりして、反社会的な事件へつながる危険性があるとのこと。

本校で行っている「メディアコントロールチャレンジ」も、その対応策の一つです。

ぜひ御家庭でメディア利用についてもう一度話し合い、ルールを作っていただきたいと思います。そして、親子の会話や手伝いを通して、親子の関わりを深めていただけたらと考えています。